

開催報告

東京シンポジウム ～有害事象から患者さんを守ろう～ 3月22日

実行委員会事務局

国立国際医療研究センター 副院長 清水利夫

コンセプトと目標

- コンセプト
みんなで、楽しく作る医療安全
- 目標
医療安全共同行動の東京地区での普及
リクルートと登録病院の募集
特に、大規模とはいえない病院

3/22までの 準備

- ◇ 打ち合わせ
 - ◇ 最初の準備委員会
 - ◇ 主催をどうする
 - ◇ 後援をどうする
 - ◇ 準備のマンパワー
 - ◇ 費用はどうする
 - ◇ 会場は
 - ◇ 演者選定と依頼は
- 準備会議4回とメール会議
 - 1月30日
 - 実行委員会方式
 - 全国フォーラムのやり方に倣って主要団体に呼びかけ
 - ボランティア
 - 資料代として参加者から
 - 安くするため自施設の会議室
 - 委員から意見を募った

具体的な準備


☆ 都下600余の病院にご案内をDM

☆ 関東信越厚生局、東京都に後援依頼

☆ 東京都医師会、東京都看護協会、東京都臨床検査技師会、東京都放射線技師会、東京都臨床工学士会etcに後援、講演依頼

☆ 当日資料の準備

☆ 会場設営の打ち合わせ



医療安全全国共同行動 いのちを守るパートナーズ
東京シンポジウム ～有害事象から患者さんを守ろう～

日時：平成22年3月22日(月) 10:00～16:30 (9:00受付)
場所：国立国際医療センター戸山病院 協力局5階大会議室
新宿区戸山1-21-1 都営地下鉄大江戸線 若松河田駅下車 徒歩5分
主催：医療安全全国共同行動東京シンポジウム実行委員会
後援：関東信越厚生局、東京都
対象：医療安全に関心のある方
(全国共同行動への登録の有無は問いません)
参加費：1000円(配布資料代として)

基調講演 実行可能なエラー対策
河野 龍太郎 先生 (自治医科大学医学部医療安全学 教授)

シンポジウム(午前) 各団体からの医療安全についての取り組み

東京都医師会(依頼中)	東京都臨床検査技師会
東京都看護協会	東京都臨床工学士会
東京都薬剤師会(依頼中)	東京都放射線技師会

～ 総合討論 ～

事例検討会(午後) 行動目録別の報告
～ 成功事例を中心として～

- ・危険薬の誤投与防止
- ・周術期肺塞栓症の予防
- ・危険手技の安全な実施 経鼻栄養チューブ
- ・ 中心静脈カテーテル
- ・医療関連感染症の防止
- ・医療機器の安全な操作と管理 輸液ポンプ、シリンジポンプ
- ・ 人工呼吸器
- ・急変時の迅速対応

～ 総合討論・総合コメント ～

事務局 国立国際医療センター戸山病院 国際長室
問い合わせ先 東京都新宿区戸山1-21-1 FAX : 03-5273-0113
e-mail : tshimizu@mcj.hosp.go.jp

当日:約300人の参加
垂れ幕作成、会場運
営すべてボランティア
で



会場前での展示 「患者・市民の医療参加」
休憩時間の参加者交流



アンケート結果

- 基調講演「実行可能なエラー対策」
もっと話を聞きたかった
聞いた話を直ぐに役立てるつもりです
- 一つの会場での縦一列の講演(午後は行動目標8つ、9演題)
他職種の話聞いたことが有意義だった
積極的に関わっていない行動目標についての話を通して
聞いたのがよかった
ハードスケジュールだった
- RRT (Rapid Response Team) の立ち上げ
共感が多かった
- 日程、会場に関して
連休でないほうが参加しやすい、机が欲しかった

今後の展望

- 大規模病院ではない施設への運動の普及
- 有害事象からのレスキューの仕組み
Code Blue、RRS、技術の向上
- 楽しく創ろう医療安全
失敗経験の共有
安全にお金を掛ける病院経営